

様式 1 （主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進	施 策	②快適で魅力ある観光まちづくりの推進
			施策の小項目名	○国際的な観光地にふさわしい観光まちづくりの推進
主な取組	沖縄フラワークリエーション事業		対応する成果指標	リピーター率
施策の方向	・ 沖縄らしい風景の保全や創出、憩いの場やレクリエーション施設の整備に加え、空港、港湾の緑化、良好な沿道景観の形成など、観光地としての受入品質を単なる「安全・安心」だけではない「快適」なレベルまで高め、誰もがリラックスして楽しめる国際的な観光地にふさわしい観光まちづくりに市町村、観光協会、観光関連団体と連携して取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
観光地への主要アクセス道路等について、花と緑のある良好な空間を創出し、道路景観を向上させる。	県	観光地への主要アクセス道路等について、花と緑のある良好な空間を創出し、道路景観の向上		
		草花等による緑化・重点管理路線数(内訳)		
		43路線	43路線(継続43路線)	43路線(継続43路線)
担当部課【連絡先】	土木建築部道路管理課		【 098-866-2665 】	関連URL
				-

様式 1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

沖縄フラワークリエーション事業

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

一括交付金
(ソフト)

委託

563, 827

562, 929

令和7年度活動内容

観光地へアクセスする道路43路線の緑化・重点管理を推進した。

(単位：千円)

予算事業名

沖縄フラワークリエーション事業

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

一括交付金
(ソフト)

委託

567, 069

令和8年度活動計画

観光地へアクセスする道路43路線の緑化・重点管理を推進する。

活動指標名

草花等による緑化・重点管理路線数（内訳）

R7年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

活動概要

実績値

R5年度

R6年度

—

—

43路線

43路線

100. 0%

順調

国際通りや首里城等の観光地へアクセスする43路線について、緑化（草花等）・重点管理を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

計画43路線に対し、実施43路線となっており、順調に実施している。国際通りや首里城等の観光地へアクセスする43路線について、緑化（草花等）・重点管理を実施したことにより、観光地沖縄としてのイメージアップと温暖化防止に寄与できた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案

反映状況

○ 年間を通して、生育状況を継続的に確認し、植栽箇所の環境条件に応じた適切な花木や草花を各季節で開花できるように管理方法等、各土木事務所や造園業者と連携して改善策を検討しながら品質向上を図る。

年間を通して、草花等の生育状況を継続的に確認し、植栽箇所の環境条件に応じた適切な花木や草花、アレロパシー植物等の植栽を行い、道路景観の向上と維持させる取り組みを土木事務所や造園業者と連携して行った。

- 2 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他内部要因 （改善余地の検証等）	植栽後の雑草繁茂や病虫害の発生、夏場の乾燥などにより、良好な景観を維持するコストと労力の負荷が課題となっている。	④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	乾燥に強く防草効果を持ち、長期にわたり開花を繰り返す多年草などの植栽範囲を拡大することにより、後年の維持負担の軽減と年間を通じた良好な景観を創出する。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(2)-ア	「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進	施 策	②快適で魅力ある観光まちづくりの推進
			施策の小項目名	○国際的な観光地にふさわしい観光まちづくりの推進
主な取組	東部海浜開発事業の推進		対応する成果指標	リピーター率
施策の方向	・沖縄らしい風景の保全や創出、憩いの場やレクリエーション施設の整備に加え、空港、港湾の緑化、良好な沿道景観の形成など、観光地としての受入品質を単なる「安全・安心」だけではない「快適」なレベルまで高め、誰もがリラックスして楽しめる国際的な観光地にふさわしい観光まちづくりに市町村、観光協会、観光関連団体と連携して取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
スポーツコンベンション拠点およびビーチフロント観光の形成に向けた海浜、緑地、臨港道路等の港湾施設整備を行う。	国,県,市町村	スポーツコンベンション拠点及びビーチフロント観光の形成に向け、海浜、緑地、臨港道路等の港湾施設整備		
		整備進捗率		
		物揚場75%	物揚場90%	物揚場100%
担当部課【連絡先】	土木建築部港湾課		【 098-866-2395 】	関連URL
				—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名	沖縄振興公共投資交付金（港湾）			
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額	
一括交付金 （ハード）	直接実施	1, 128, 795	1, 140, 467	
令和7年度活動内容				
護岸（約115m）、ブロック製作（265個）、臨港道路（約80m）を整備した。				
予算事業名	社会資本整備総合交付金（泡瀬工区）			
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額	
内閣府計上	直接実施	2, 779, 658	2, 838, 279	
令和7年度活動内容				
橋梁上部工架設（約255m）、橋面工（高欄設置811m）を整備した。				

(単位：千円)

予算事業名	沖縄振興公共投資交付金（港湾）		
R8年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
一括交付金 （ハード）	直接実施	197, 000	
令和8年度活動計画			
護岸工事（約350m）、臨港道路（約150m）の整備を行う。			
予算事業名	社会資本整備総合交付金（泡瀬工区）		
R8年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
内閣府計上	直接実施	595, 000	
令和8年度活動計画			
橋梁橋面工（約810m）、道路改良（交差点）を実施する。			

活動指標名	整備進捗率		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	—	—	75%	物揚場75%	100. 0%	順調	護岸（約115m）、ブロック製作（265個）、臨港道路（約80m）を整備した。橋梁上部工架設（約129m）、橋面工（高欄設置811m）を整備した。

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
国事業における進捗率は約70%、県事業における進捗率は、81%（事業費ベース）となっている。海上工事の期間に制約があること等から事業計画を見直し埋立竣工を令和11年度としており、計画のとおり整備を進めていることから順調と判断した。 取組完了後の効果として、スポーツコンベンション拠点の形成が図られ、本島中部東海岸地域の活性化が期待される。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和7年度の取組改善案	反映状況
債務負担行為等を活用した効率的な工程計画により整備を推進する。 県民に対し事業に対する理解の向上を図るため、引き続き国や沖縄市等と連携し、人工海浜でのレクリエーションなどイベント利用等を行う。	債務負担行為等を活用し、効率的な整備を推進するとともに、国や沖縄市と連携して、早期整備、部分使用に向けた工程計画の検討を継続的に行っている。令和7年度は事業進捗に必要な補正予算を確保した。 当該事業に関する理解度向上を目的に、沖縄市が主催した人工海浜でのイベント（「海の日イベント」）に協力した。

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況（内部要因）	埋立事業について、地元の沖縄市等から引き続き早期整備の強い要望がある。	① 執行体制の改善	円滑に工事を進めるために、工期が1年以上になる工事について、債務負担行為等を活用した効率的な発注計画や、令和8年度の補正予算を必要な時期に要望することで整備を推進する。
⑦ その他内部要因（改善余地の検証等）	環境保全に配慮して工事を進める必要があることから、工事期間が限られていること、国や市町村の多数の工事が混在すること等を踏まえ、早期整備に向けた効率的、効果的な整備推進が必要である。	② 連携の強化・改善	国や沖縄市の事業進捗状況を把握し、連携して、早期整備に向けた工程計画の検討を引き続き行う。
⑦ その他内部要因（改善余地の検証等）	事業を円滑に推進するため、県民に対し、当該事業に関する理解度向上を図る必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	事業に対する理解度向上を図るため、引き続き、国や沖縄市等と連携し、人工海浜でのイベントに協力する。